



金沢市立鳴和中学校 学校だより

い ら か

令和8年度 第8号

発行日: 令和8年8月31日

発行責任者: 校長 鶴見隆之輔

目指すは、「**自他共栄** ～自分も相手も大切に～」の学校！

現在、日本でも世界でも大きな自然災害が次々と起こっています。地球温暖化が要因の1つで、異常気象であると解説されることもあります。私たちは、国の機関やニュースなどで言われている「これまでに経験したことのない」「100年に1度の」ということではなく、今日にも明日にも、自分自身や大切に思っている人々が被災者となることが、日常的に起こってもおかしくないと認識する時代を迎えたのかもしれません。

だとしたら、思いやりのところをもつことがより一層必要な時代なのではないかと思います。

本校では、教育目標に『**自他共栄**』ということ掲げ、教育活動を行っております。保護者や地域の方々とともに、その実践に取り組んで参りたいと思います。

◆「ない」ではなく「気付いていないだけ」

皆さん一人一人には、自分のよさ、自分らしさが必ずあります。しかし、人間は、他人のよさ（才能）はうらやましがるのに、自分のよさについては気が付かないという不思議な習性をもっているようです。そして、なぜか、自分については、欠点ばかりに目を向けてしまいます。「自分にはよいところがない」「自分には才能がない」のではなく、単にそれに気が付いていないだけなのです。

◆「ありがとう」を伝えよう

人のよいところに目を向けて「ありがとう」を伝えていきましょう。わかりやすいアクションに対してだけでなく、その人の活動に向かう心意気や醸し出す雰囲気、態度や言葉、「その人の存在そのもの」にも感謝の気持ちを伝える機会をもってください。

◆正しさ、の前に優しさを

正しさには2種類あると思います。一つ目は、数値的・科学的に正確であること。二つ目は、世の中の常識的な正しさ。こちらは、自分が正しいと以为ていても、他の人はそう思っていない可能性があります。だから、自分の基準に照らし合わせて、これが正しい、あなたは間違っているという伝え方をすると、相手は気分を損ねてしまうこともあるかもしれません。正しさと優しさの共存は難しいこともあります。人に何かを伝えたいと思うのであれば、まずは「なるほどね、そんな考え方もあるんだ」と受け止め、その後「あなたの考えもいいけれど、こういう考え方もあるよね」と相手にわかりやすく伝えることで、優しさも届けられるのではないかと思います。

◆相手に受け入れられやすい言葉を選ぶ

言葉は選ぶものです。相手を傷つける言葉は選ばず、相手に受け入れられやすい言葉を選ぶことでコミュニケーションは円滑になります。言葉をなんとなく使うのではなく、選んで使う。日常的に「言葉は選ぶ」を習慣にしていきましょう。

(金沢市立鳴和中学校学校だより令和7年8月29日〈9月号〉より抜粋)

【お知らせ】

- 令和8年度卒業証書授与式は、**令和9年3月13日(土) 10:00**の開式となりました。式に関するお知らせについては、令和9年を迎えてから、改めて配付させていただきます。